



2022年11月18日

各位

会社名 株式会社テラ・ウェスタン・セラピューティクス研究所  
 代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
 (コード番号:4576)  
 問合せ先 経営企画室長 山北 真子  
 TEL 052-218-8785

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月10日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表 (A)	370	△690	△700	△670	△22.82
今回修正予想 (B)	440	△400	△390	△380	△12.49
増減額 (B - A)	70	290	310	290	
増減率 (%)	18.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	414	△171	△159	△148	△5.08

##### 2. 2022年12月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想発表 (A)	370	△540	△540	△18.39
今回修正予想 (B)	410	△330	△330	△10.85
増減額 (B - A)	40	210	210	
増減率 (%)	10.8	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	412	△39	△240	△8.21

### 3. 修正の理由

売上高につきましては、主に眼科手術補助剤「DW-1002」の欧州・米国等のロイヤリティ収入が好調であること、並びに本日公表した「当社子会社（日本革新創薬株式会社）の角膜内皮治療薬の実施権譲渡のお知らせ」のとおり、権利譲渡による対価（一時金）を受領することによる増加です。特に、眼科手術補助剤「DW-1002」については、販売数量の増加と為替の影響により当初予想よりも約20%増加する見通しとなりました。

一方、費用につきましては、主に緑内障治療剤「H-1337」の開発費用の使用が見込みより少ないことにより当初予想に対して大幅に縮小する見込みです。

上記により、当期業績予想を上方修正いたします。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上